



北斗句会 九月定例会（四日 偕行社） 兼題「秋」「盆」

五十音順 特選は特選 石田きよし選

盆灯籠きざはしのぼり友しのぶ 大崎石州

秋夕焼浮き立つ富士の影法師 太田黒幸風

顔洗ふ寝覚めよろしき秋の水 大森康政

特選 今までにないほど水を飲んで秋 川瀬 亮

特選 秋声やとぎれとぎれに妻の息 竹内雲泉

新涼や青き昼の肌触り 田中資凡

特選 白足袋の鼻緒の染みや棚経僧 長池豆陽

ゆるゆると渡し舟ゆく水の秋 深見十萬

かなかなに覚悟のほどを問はれをり 藤田紀潮

太陽の季節につづく秋の海 宮下ひかる

空白のスケッチ帳や秋に入る 森田光彦

今日もまた木陰求むる残暑かな 山縣秀雄

青べかの焼き蛤や夜の秋 吉岡誠山



延命を拒否して逝けり流れ星 石田きよし